

# 年末年始無災害運動に 取り組んでまっ堺運動



年末年始は、機械の修理、点検、一斉清掃など、普段と異なる「**非定常作業**」が多く発生します。そのため、焦りや疲労から不安全行動が起こりやすく、労働災害のリスクが高まります。

対策として、作業前のリスクアセスメントや危険箇所の共有、機械の停止確認の徹底、安全装置の無効化禁止、化学物質へのばく露対策などが重要となります。

- ### 年末年始に増加する非定常作業の例
- ・設備の点検・整備  
年末年始の長期休暇を利用し、工場などの機械設備を一斉に停止し、点検や修理を行う作業。
  - ・清掃（大掃除）  
通常あまり行わないような場所や、機械の内部などの清掃作業。
  - ・設備の停止・再稼働  
長期停止させるためのシャットダウン作業や、休暇明けの再稼働（立ち上げ）作業。
  - ・生産切り替え時の段取り  
年末年始の生産計画に基づく、製品の切り替えに伴う作業。
  - ・トラブル対応  
予期せぬ設備の異常や故障等の復旧作業。

- ### 労働災害のリスクが高まる理由
- ・不慣れな作業  
普段行わない作業のため、作業者が必要な知識や経験、十分な準備がないまま行う可能性があること。
  - ・手順の省略・安全装置の無効化  
慌ただしい時期や急ぎの仕事のために、安全確認を怠ったり、機械の安全装置を取り外したまま作業を行うケースがあること。
  - ・生活リズムの変化・疲労  
年末年始は生活リズムが崩れやすく、疲労や集中力の低下が起こりやすいこと。

## 《災害防止のための対策》

- ・事前計画と情報共有  
作業計画を作成し、関係者間で作業方法や潜在的な危険箇所(リスク)を共有・周知徹底する。
- ・リスクアセスメント・KY活動  
作業前に「どこにどんな危険が潜んでいるか」を話し合い、安全確保の対策を決定する（危険予知活動）。
- ・機械の運転停止  
機械の清掃・給油・検査・修理等を行う場合は、機械を完全に停止し、ロックアウト（勝手に動かないように施錠すること）などの措置を講じる。
- ・保護具の適切な使用  
作業に適した保護帽や保護手袋、墜落制止用器具などを適切に使用する。
- ・声掛け・確認の徹底  
作業前後の指差し呼称や周囲の仲間との声掛けを行い、安全意識を高める。

**年末年始は、普段と違う状況だからこそ「安全最優先」の意識を持ち、基本ルールを徹底することが重要です!!**



## 1 転倒の危険をチェック

- 通路や出入口、階段などに物を放置していませんか
- 作業場所・通路に水や油等がこぼれていませんか
- 滑りにくく脱げにくい靴を履いていますか
- 段差などの危険箇所をトラテープなどで見える化をしていますか
- 階段付近などで十分な明るさを確保していますか

## 2 腰痛の危険をチェック

- 重量物を取り扱う作業などの自動化・省力化をしていますか
- 荷物を持ち上げる際の適切な作業姿勢・動作を理解していますか
- 人力で作業をする場合の重量は、男性は体重の40%、女性は25%以下としていますか
- 長時間、同じ姿勢や無理な体勢で作業していませんか
- 作業の合間などにストレッチを行っていますか

## 3 脚立作業時の危険をチェック

- 脚立や踏み台などは安定した場所に設置していますか
- 脚立の開き止め金具を確実にロックしていますか
- 脚立の天板上など不安定な姿勢での作業となっていないですか
- 荷物を持つての昇降とならないよう複数人で作業していますか
- 脱げにくく滑りにくい靴、ヘルメットを適切に着用していますか

## 4 非定常作業時の危険をチェック

- 動力の電源を切り、機械設備を完全に停止させていますか
- 点検作業時に必要な照度を確保していますか
- 起動スイッチに施錠をしていますか
- 操作盤等の近くに「点検中のため操作停止」などの表示をしていますか
- 無効にした安全装置、安全カバーなどを元に戻していますか

## 5 交通事故の危険をチェック

- 経路上の交通情報や気象情報を収集し出発前の準備をしていますか
- 急ハンドル、急ブレーキ、急発進をしていませんか
- 橋の上、カーブの手前など凍結しやすい場所で速度を落としていますか
- 自転車を使用する際にヘルメットをかぶり、安全運転を心掛けていますか
- 時間と心に余裕を持った運転をしていますか

